

岩手県立児童館「いわて子どもの森」の運営改善に関する サウンディング型市場調査実施結果概要

1 調査の目的

岩手県では、子どもたちが、自然の中でのびのびと自由に遊ぶことができ、また、友達や家族、自然とのふれあい体験ができる場を提供するとともに、遊びの指導者の育成、研修を行うなど、障がい児を含めた県下の児童健全育成活動を支援する中核的な施設として、岩手県一戸町奥中山地区に県立の大型児童館として「いわて子どもの森」を平成 15 年に整備し、運営しているところです。

開館から 20 年以上が経過する中で、子ども自身が多様な遊び体験を通して、見て、聞いて、触れて、感じるなかで、驚きや発見、多彩な出会いをはぐくむ体験型の児童館として、引き続き、遊び体験をより多くの子どもたちへ提供するため、「いわて子どもの森」の更なる魅力化や、持続的な維持に向けた検討を進めています。

そこで、「いわて子どもの森」が次世代を担う子どもたちやその保護者等にとって、さらに魅力的で、かつ、持続可能な施設とするため、入館料の徴収など収入確保策の導入を含めた運営手法等の検討に向けて、サウンディング型市場調査を実施するもの。

2 調査の内容

(1) 対象施設 いわて子どもの森

所在地：岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子

(2) 対話の内容

ア 入館料を有料化した場合における来館者数の維持・拡大に資する、民間ノウハウを活用した施設の魅力度向上について

イ 施設の効果的・効率的な運営・維持管理について

ウ 施設の持続的な運営かつ利用拡大に資する運営手法等について

3 調査の経過

(1) 実施要領の公表 令和 7 年 5 月 26 日 (月)

(2) 対話申込受付 令和 7 年 5 月 26 日 (月) ～令和 7 年 6 月 27 日 (金)

(3) 対話実施日 令和 7 年 7 月 10 日 (木)

4 調査参加業者

4 者

5 サウンディングの結果（主なアイデア、意見等）

入館料有料化関係について	<ul style="list-style-type: none">・コンテンツ整備の必要性・有料区域のエリア分け・駐車場の有料化
施設整備関係について	<ul style="list-style-type: none">・レストランのリニューアル・宿泊施設の強化・グランピングの整備・アスレチックの年代ごとのエリア分け・岩手の自然や歴史を反映させたコンテンツ整備
運営手法関係について	<ul style="list-style-type: none">・キャッシュレス化への対応・近隣飲食店によるキッチンカー出店やメニュー開発・SNS による広報・岩手ならではの物販・施設利用時に必要となるもの（涼めるグッズ等）の販売強化
こどもの意見聴取について	<ul style="list-style-type: none">・学校の課外活動での意見出し・フリースペースに紙で書いてもらう・アンケート・ワークショップ
県に対する要望等について	<ul style="list-style-type: none">・事業提案の自由度・建物リスクへの対応・公募、入札等における透明性ある応募プロセス・児童館と KPI の親和性

6 今後の予定

本調査等も参考にしながら、いわて子どもの森の更なる魅力化や、持続的な維持に向けた検討を進めていきます。